

本日、広島県保健環境センターの検査により、三次市内で新たな新型コロナウイルス感染症の患者の方が一度に22名確認され、本市での感染者数は、25名にもなりました。

新型コロナウイルスの感染が本市において、あまりにも急速に拡大していることに驚愕の思いであり、非常事態に直面していることに大きな危機感を感じております。

改めて、感染された方々の1日も早い回復をお祈り申し上げます。

現在、広島県が患者の行動歴等を調査し、二次感染に該当するか、慎重に調査を進めています。

市では、先ほど第5回目の新型コロナウイルス感染症三次市対策本部会議を開催しました。

この会議において、先日、市内の小中学校については、4月16日（木）から5月6日（水）まで休校することといたしておりましたが、この非常事態を受けて、改めて慎重に検討を行った結果、週明けの4月13日（月）から休校することを決定いたしました。

新学期を迎えた子どもたちの思い、保護者の皆様のご負担を考えますと、本当に重い判断でありましたが、感染が拡大している状況を重く受け止め、子どもたちの命を守るという思いでの決断に至ったものであります。

また、感染者の多くを高齢者が占めており、感染の拡大によって、介護サービスが崩壊してしまうことを危惧しております。

高齢社会の中で、介護サービスは高齢者の皆様の暮らしを支える大切な礎であり、介護サービスの崩壊を防ぐために、当面は感染防止対策の徹底を進めていくとともに、県と連携して、そのための方策を見つけていきたいと考えております。

全国的に、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、本市においても、今後も更なる感染者の増大も懸念されます。

これまで私たちが経験したことのない非常事態に中にあるという危機感を、市民の皆様とともに共有し、心を一つにして、この難局を乗り越えるため、市民の皆様の生命と健康を守ることを第一に、感染拡大防止に全力で取り組んでまいります。

引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

令和2年4月12日

三次市長 福岡 誠志